

目 次

ページ

(1) 視聴覚教材利用の手引き・・・・・・・・・・ 2

1. 視聴覚教材の貸し出し
2. 貸し出しの手続き
3. 利用について
4. お申し込み・お問い合わせ先

(2) 啓発DVD・VHSの内容・・・・・・・・・・ 3

*題名・所要時間・制作年

○ 視聴覚教材貸し出し申込書について ○

★巻末に申込書が添付してあります。

★人権教育室・人権啓発センターのホームページからダウンロードできます。

URL <http://www.city.itami.lg.jp>

(伊丹市ホームページ)



伊丹市立男女共同参画センター ここいろでも図書館の貸し出しを行っておりますので、ぜひご利用ください！

詳細については巻末をご覧ください。



(1) 視聴覚教材利用の手引き

1. 視聴覚教材の貸し出し

個人・学校・家庭・地域・職場などの人権学習教材として、啓発VHS・DVDの貸し出しを行っています。期間を原則1週間として無料でご利用いただけます。

2. 貸し出しの手続き

① 予約・貸し出し

事前に予約・貸し出し状況を確認の上、所定の申込書（本冊子巻末添付のもの、または人権教育室・人権啓発センターのホームページ URL <http://www.city.itami.lg.jp>（伊丹市ホームページ内）よりダウンロード）にてお申し込みください。

予約・貸し出し状況については、下記各所管までお電話にてお問い合わせください。

② 貸し出し期間・数

原則1週間で1回に合計4点までとなっています。

③ 返却

返却期日までに必ず返却してください。返却が遅れる場合は、事前にご連絡ください。

3. 利用について

視聴覚教材は一人でも多くの人に活用してもらうために、大切に扱っていただくようお願いいたします。

4. お申込み・お問い合わせ先

○伊丹市教育委員会事務局 人権教育室

住 所：伊丹市千僧1丁目1番地（市役所5F）

電 話：072-784-8113（直通）

ファックス：072-780-3519

Eメール：ed-jinken@city.itami.lg.jp

○伊丹市立人権啓発センター『ふらっと』

住 所：伊丹市堀池2丁目2番20号

電 話：072-781-6006（直通）

ファックス：072-779-6224

Eメール：jinkenkeihatsu@city.itami.lg.jp

人権啓発VHS・DVDの内容

テーマ	タイトル	内 容	時間 (分)	制作年	所 管	種類	番号
いじめ	見上げた青い空	いじめによる「自殺者」に対して、心が弱いからなどの更なる「いじめ」がある。いじめによる自殺者は決して心が弱いのではない。巧妙でかつ残酷ないじめで、被害者も加害者も苦しんでいる。いじめ問題を未然に防ぐには「いじめのメカニズム」を社会全体の中で解明する必要がある。	34	2007	人権教育室	DVD	216
	ネットいじめから子供を守る	ネットいじめから子どもを守るにはどうすればいいのか。ドラマ仕立てで検証し、発生時の対処法を随所にはさむ。	23	2010	人権教育室	DVD	231
	中学生篇 いじめと戦おう！～もしもあの日に戻れたら～	いじめ問題は喫緊の課題である。この教材は干渉した生徒がいじめのメカニズムや対策を自分の身に置き換えて考えることができるドラマ形式の教材。いじめ問題全体について話しあうために活用できる。	23	2012	人権教育室	DVD	235
	いじめ— 一歩ふみ出す勇氣	いじめの傍観者だった主人公が葛藤し、仲間と一緒にいじめの被害者を救っていかうとするストーリーを通して、いじめ解決のために一歩ふみ出すことの大切さを伝えます。また被害者・加害者・傍観者それぞれの立場に自分を置き換えることで、考え、話し合い、よい行動をとる力を養います。	19	2018	人権教育室	DVD	297
	あなたは大丈夫？ 考えよう！いじめ	小学生篇と中学生篇、2つのストーリーを紹介。現在では小中学生の多くがスマートフォンを持っていることから、メッセージアプリやSNSを使ったいじめなどのトラブルが多く起きています。いじめをなくすためにはどうしたらよいか、周囲の大人へのSOSの出し方や悩んだ時の相談窓口について、事例をもとに学んでいきます。	29	2023	人権啓発 センター 人権教育室	DVD	327
命	風のかたち —小児がんと仲間たちの 10年—	小児がんと闘う子どもたちが毎年、親元を離れ3～4日間過ごすサマーキャンプとそれを支える医師やボランティアスタッフの姿を10年間にわたって撮影。命の尊さ、生きる意味をやわらかに問いかける。	105	2011	人権啓発 センター	DVD	227
	いのちに寄り添う ～ターミナルケアと人権～	もしも、あなたの身近な人が、重い病になったとしたら？このビデオでは二組の「いのちに寄り添う」人々に密着取材。2人に1人が、がんになる時代。現代に生きる全ての人が学ぶべき、命の教材です。	35	2017	人権教育室	DVD	288
冤罪	日本の黒い夏 冤罪	松本サリン事件の第一通報者であり、被害者でもあった河野義行さんは、殺人容疑をかけられ、マスコミによるあおり、市民による迫害を受ける。日常と「冤罪」が隣り合う恐怖を描く。	119	2000	人権啓発 センター	VHS	9
感染症	人間回復の橋、心のかけ橋 となれ	ハンセン病を正しく理解するために、ハンセン病療養所の方々の（語り部）証言を集める。発症から隔離、入所、療養所の生活から、体験に基づく思いを語りかける。	29	2002	人権啓発 センター	DVD	191
	ハンセン病学習写真集	岡山県長島愛生園の施設を写真で紹介する。周囲の環境、施設を見ながら、そこに刻まれているハンセン病患者への偏見や差別による苦闘の長い歴史に触れる。			人権啓発 センター	DVD	203
	ハンセン病とは？ ハンセン病を正しく理解する ために	ハンセン病問題の正しい理解のために兵庫県が作成。	30	2013	人権教育室	DVD	248
	もういいかい—ハンセン病 と三つの法律—	3つの法律をもとに展開されたハンセン病の絶対隔離政策。療養所の中で何が行われ、入所者がどのような生活を送っていたのか、その仕組みと実態を検証し、100年にわたるハンセン病の歴史を描く。	104	2012	人権教育室	DVD	253
	ハンセン病問題～過去からの 証言、未来への提言～ 家族で考えるハンセン病	国や地方公共団体、企業等の人権教育・啓発に携わる職員が身につけておくべきハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等についてわかりやすくまとめる。また、広く一般市民を対象とした映像も併せて制作。	56 20	2015	人権教育室	DVD	262
	こんにちは金菜九さん ハンセン病問題から学んだ こと	第33回全国中学校人権作文コンテスト法務大臣賞「NO！と言える強い心をもつ」の映画化。中学生の目から見たハンセン病問題。	25	2015	人権啓発 センター	DVD	270
	弐雄二 ハンセン病とともに 生きる	国のハンセン病隔離政策の誤りを指摘し、いまなお私たちの日本社会に根強く残るハンセン病の元患者らに対する偏見・差別と闘い続けてきた弐雄二さんの生涯を描いたもの。未来を担う若い人たちにはハンセン病差別だけでなくあらゆる差別をなくし、人権を守る努力をしてほしい、そのことを考えるための重要なメッセージ	43	2017	人権啓発 センター	DVD	290
	ハンセン病問題を知る ～元患者と家族の思い～	隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録。ハンセン病についての正しい知識や歴史、近年の動向など、理解を深めるとともに偏見や差別のない社会の実現について考えるためのDVD。	35	2020	人権啓発 センター 人権教育室	DVD	307

人権啓発VHS・DVDの内容

テーマ	タイトル	内 容	時間 (分)	制作年	所 管	種類	番号
感 染 症	私たち一人ひとりができること	「コロナ差別」の特徴と、差別や偏見がなぜ生まれるのか、そしてどのように向き合っていけば良いのかを学べるドラマ形式の人権啓発教材。	26	2021	人権教育室	DVD	313
	君が笑っていた -ソーシャルディスタンスの異-	新型コロナのまん延により、急激に姿を変える社会の現実を通して、差別やいじめの無い社会とは何かを語り合うための作品。	23	2021	人権啓発センター	DVD	314
企 業 の 人 権	メンタルヘルスと人権 ～あなたの心の声を聞いていますか～	どこかで誰かがうつ病に陥っている。あなたの職場は大丈夫？メンタルヘルス（心の健康）ケアの重要性を気付かせるビデオ。生き生き働ける職場作りのため、セルフケア、職場のラインケア、家族の関わり方を考える。	30	2009	人権啓発センター	DVD	206
	事例で考えるパワハラ解決法 ①パワハラと熱血指導	管理職として部下へ、当たり前前の指導をしているつもりが、もし、パワハラといわれたら？部長、課長、主任の様々なやり取りをドラマで描き、パワハラにならない指導のあり方を解説する。	23	2009	人権教育室	DVD	210
	事例で考えるパワハラ解決法 ②パワハラ解決技法	職場を蝕むパワハラには迅速な対応が欠かせない。パワハラなどの兆候、訴えがあった場合のタイプ別の解決技法を、ドラマと解説によって分かりやすく説明する。	25	2009	人権教育室	DVD	211
	人権のヒント 職場編	日常の職場で起こり得る様々な場面を取り上げて、視聴者自身が討議し、自らの体験を語り研修する。研修者が主体的に考え、話し合う中から職場の人権について理解を深める。参加型の研修に最適である。	22	2010	人権教育室	DVD	218
	心のケアと人権 職場編 (字幕入り)	配置転換後にストレスと仕事の過重により欠勤がちとなる佐伯。上司の鈴木は叱責や激励で業務を遂行させようとするが、状況は悪化。佐伯はうつ病と診断される。何でも話し合い、支えあう職場環境をつくるのが大切だと悟った鈴木は、課内のミーティングを開き、職場環境づくりについて話し合う。	22	2011	人権教育室	DVD	222
	それぞれの立場 それぞれのきもち 職場のダイバーシティと人権	日常の職場で起こりそうな出来事を取り上げている。年代や経験、価値感の異なるメンバーがどのような思いを持っているかを描き、コミュニケーションの重要性やダイバーシティの考えに沿って問題解決のヒントを示す。	32	2011	人権教育室	DVD	226
	職場の日常から考えるパワーハラスメント	より働きやすい職場をつくるために、働く一人ひとりがそれぞれの立場から「職場のパワーハラスメント」をなくすためにどうすればいいかを4つのエピソードに分け、ドラマスタイルで描く。	28	2012	人権教育室	DVD	233
	自他尊重のコミュニケーションと職場の人権1	職場の身近なコミュニケーション不全がハラスメントの問題につながっていくことをドラマ形式でわかりやすく伝える。どうすれば健全な職場環境を育てることができるのかを皆で考えていく。 (上司⇄部下 女性⇄男性)	23	2013	人権教育室	DVD	239
	自他尊重のコミュニケーションと職場の人権2	先輩・後輩、年上の部下・年下の上司など異なる立場の登場人物にスポットをあて、お互いを尊重するコミュニケーションの大切さを考えていく。	23	2013	人権教育室	DVD	240
	元気な職場をつくるメンタルヘルス3	うつ病による職場復帰がなぜ失敗してしまうのか。うつ病で休業し復職を果たした人が、病気を再発させて再び休業してしまう事例を通して、再発しない職場復帰のあり方を示す。	21	2013	人権教育室	DVD	243
	メンタルヘルス新世紀Ⅱ	心の病を抱える若手社員にどう対応するか。新型うつ病について正しい理解をするとともにどう対応すべきか、また、日頃からどのようなことに気をつけるべきかを示す。	34	2013	人権教育室	DVD	245
	なぜ企業に人権啓発は必要なのか	人権啓発を考えるためのヒントを、企業を舞台に日常の会社生活の1コマを切り取ったわかりやすいドラマとして構成。	24	2014	人権教育室	DVD	254
	元気な職場をつくるメンタルヘルス5 ②自分でできるセルフコントロール	労働者を取り巻くストレス、ストレスを悪化させる要因、疾病の関係をNIOSHのストレスモデルで解説し個人レベルのストレス対策やストレス状態への気づきと対処の大切さに言及。	25	2013	人権教育室	DVD	255
	企業活動に人権的視点を-CSRで会社が変わる・社会が変わる-	CSR（企業の社会的責任）や人権課題に関する企業の取組を啓発推進することを目的に、各地で開催した「企業の社会的責任と人権セミナー」において、CSRと人権課題に積極的に取り組まれている企業が発表した実践事例の中から、関心の高いテーマに関する事例をわかりやすくまとめている。	103	2015	人権教育室	DVD	263

人権啓発VHS・DVDの内容

テーマ	タイトル	内 容	時間 (分)	制作年	所 管	種類	番号
企業 の人権	出産・育児への理解がない～職場のマタニティ・ハラスメントを防ぐ～	「マタハラ」とは働く女性が妊娠・出産にあたって職場で受けるハラスメントのこと。ある会社のハラスメント相談員が、マタハラの相談をうけたことをきっかけに、周囲に理解と解決策を示す内容になっている。	26	2015	人権教育室	DVD	268
	フェアな会社で働きたい	人事部の新入社員の体験をドラマにする。公正な採用選考をはじめとする人権のあり方について学ぶ。(内容)「セクシュアルハラスメント」、「パワーハラスメント」、「外国人」、「障がい者」、「誰もが働きやすいために」、「いつもフェアであること」	25	2015	人権教育室	DVD	269
	人権啓発は企業にどんな力をもたらすのか	企業に働く人が人権の視点を取り入れて仕事に関わっていくことが企業にとってどんな力をもたらすかということを実例をドラマ形式で事例を取り上げて紹介。	25	2017	人権教育室	DVD	273
	多様性を尊重した職場のコミュニケーションと人権Ⅰ	様々なハラスメントの芽を摘むためにも、よりよいコミュニケーションが重要となってくる。どこの企業でもありそうなショートドラマと振り返りを通して、多様性を尊重したコミュニケーションを考える。	25	2015	人権教育室	DVD	274
	多様性を尊重した職場のコミュニケーションと人権Ⅱ	企業の多様化が原因で発生する人権課題とその解決のヒントをわかりやすく描いたドラマ。	25	2015	人権教育室	DVD	275
	企業と人権 職場からつくる人権尊重社会	「人権問題」への対応は時として企業の価値に大きく関わるため、人権尊重の考え方を積極的に企業方針に取り入れたい、職場で人権に関する研修を行う企業も増えてきています。本DVDでは対処のポイントや先進事例を含め解説しています。	40	2017	人権啓発 センター・ 人権教育室	DVD	289
	パワハラを学ぶ	パワハラの背景、指導法、被害を受けたとき、相談をうけたとき、防止対策。	20	2017	人権啓発 センター	DVD	292
	わからないから確かめ合う～コミュニケーション～	昨今、企業に関わる様々な人権問題。ハラスメントや差別的取扱いなど、多くの日本企業が直面する可能性が高いテーマを中心に取り上げ、それらに共通する解決策として、「コミュニケーション」を提示しています。	29	2018	人権教育室	DVD	301
	防ごう！リモートワークのハラスメント	新型コロナウイルス感染症拡大により、リモートワークやテレワークと呼ばれる在宅勤務が増えています。さまざまな事例を通して、リモートワーク環境下で起こりうる問題を理解し、自分ならどう行動するかを考える内容となっています。	23	2020	人権啓発 センター	DVD	309
	企業活動に人権的視点②～会社や地域の課題を解決するために～	企業が果たすべき社会的責任・CSRが問われる時代になってきた今、どのように取り組むことが企業内外の人のためになり、地域や環境のためになるのか、先進的な5つの取組事例を紹介。	97	2019	人権啓発 センター 人権教育室	DVD	317
	許すな「えせ同和行為」～あなたの会社を不当な要求から守ろう～	「えせ同和行為」とは、同和問題を口実にして、企業・個人や官公署などに不当な利益や義務のないことを求める行為を指します。それらの主な事例をドラマ形式で具体的に紹介し、その心構えと対策を分かりやすく紹介していきます。	36	2020	人権啓発 センター 人権教育室	DVD	318
日頃の言動から考える職場のハラスメント	職場で起こりがちなハラスメントやそのグレーゾーンについて、様々な事例をもとに考え方のポイントを解説し、ハラスメントが起こりにくい職場環境作りについて自分事として考えることができる教材です。	29	2021	人権教育室	DVD	320	
今企業に求められる「ビジネスと人権」への対応	今、企業は自社事業に関わる全ての従業員はもちろん、ステークホルダーと呼ばれる取引先の従業員や顧客、消費者、地域住民など、事業に関わる全ての人の人権を尊重することを求められます。本DVDでは企業が「ビジネスと人権」に関する取組を進めるに当たり、参考となる情報を分かりやすく紹介しています。	36 14	2022	人権啓発 センター	DVD	323	
高齢者	もう一度あの浜辺へ	超高齢社会の到来、老老介護、高齢者疎外や虐待などの社会問題。どの家庭でも起こり得る問題を、家族の絆、地域の絆等の側面から考える。	38	2004	人権啓発 センター	VHS	145
	老いを生きる-今日も何処かで高齢者のサインが！	老人性痴呆症の高齢者を取り巻く介護の問題、地域の問題をドラマ風に展開する。身近な、しかもこれからの深刻な社会問題となる高齢者介護問題を、家庭、企業、地域がどうすれば解決できるかを考える。	35	2007	人権啓発 センター	VHS	200
	ここから歩き始める	認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤ときずなな紡ぎなおしを描くことで、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考える。	34	2015	人権教育室	DVD	264

人権啓発VHS・DVDの内容

テーマ	タイトル	内 容	時間 (分)	制作年	所 管	種類	番号
子どもの人権	クリームパン	虐待を受ける子どもと母親、自立できず孤立する青年とこれを支援するパン屋の女性との交流から「いのち」「つながる」ことを考える。	36	2010	人権教育室	DVD	213
	起こる前に考える子ども虐待	今、子どもたちに対する虐待は大きな社会問題になっており、この対策に国、地方行政だけでなく、地域の方々が真剣に取り組んでいる。虐待の起こる原因、背景などのメカニズムを分析している。	39		人権教育室	DVD	215
	ともだちみつけた	幼児向けアニメーション。第1話は、相手を思いやる心を、第2話は、失敗を恐れず勇気を持ってチャレンジする心とそれを見守る友情をテーマとしている。	16	2011	人権啓発センター	DVD	224
	もったいないはあさんと考えよう世界のこ	地球の問題と厳しい環境でくらす世界の子どもの現状。そして、それらが私たちのくらしとどのようにつながっているか伝える。Vol.1世界で起きている10の問題、Vol.2世界の10人の子どもたち、付録インドの映像。	71	2011	人権啓発センター	DVD	228
	名前～それは燃える命～(アニメーション)	それぞれの子どもの名前に込められた深い愛情や思い。担任の姜明子先生も名前に深い思いがある。中学校まで民族名を隠し、「あきこ」と名乗っていたが、そのとき出会ったのは、ゴダイゴの曲「ビューティフル・ネーム」であった。	18	2006	人権啓発センター	DVD	237
	スマホの安全な使い方教室	スマホを介して子どもたちはいつでもどこでも他人とつながることができる。しかし、スマホを介したSNSでのトラブルも増加している。個人情報の取り扱い、SNSに潜む危険など最新のトピックを取り上げ、スマホの安全な使い方を学ぶ。	23	2015	人権啓発センター	DVD	258
	未来を拓く5つの扉ー全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集ー	全国中学生人権作文の入賞作品の中から5編の作文を朗読してアニメーションやイラストで紹介。①本当の国際化とは ②電車内に咲いた、笑顔の花 ③立ち止まる ④NO!と言える強い心を持つ ⑤絆 ⑥審査員長からのメッセージ	46	2015	人権教育室	DVD	260
	夕焼け	ヤングケアラーの背景には、少子高齢化や核家族化の進展、共働き世帯の増加、家庭の経済状況の変化といったさまざまな要因があります。ヤングケアラーやその家族が抱える問題を認識し、だれもが互いの人権を尊重する中で、それぞれの自己実現の達成へ向け歩んでいける社会について考えます。	35	2021	人権教育室	DVD	311
	あなたは大丈夫？考えよう！児童虐待	近年、全国の児童相談所における児童虐待に関する相談対応件数は一貫して増加し、令和4年度には約22万件と過去最多になっています。こどもの生命にかかわる重大な児童虐待事件も後を絶たず、児童虐待の防止は社会全体で取り組むべき喫緊の課題です。児童虐待防止に関する正しい知識を身に付けるための動画を制作しましたので、研修を行う際に映像教材として使用できます。	33	2023	人権啓発センター 人権教育室	DVD	328
	あなたのいる庭	社会には児童養護施設など社会的養護のもとで暮らしている子どもたちや、そこから自立したが家族からのサポートを得られずに生きる人たちがいます。社会的養護の現状や実態を知る人は少なく、世間からの無理解と偏見にさらされ、進学や就職など生きる上で様々な困難に直面している現状があります。「こどもの人権」について改めて考えましょう、	35	2024	人権教育室	DVD	330
ことばの暴力～心を傷つけたひとと言～	私たちにあって当たり前存在である言葉。その言葉の大切さと、使い方を次第でことばが人を傷つける刃物ようになってしまうことを、主人公たちの何気ない日常を通して理解し、言葉の力、使い方をもう一度考えるきっかけになることを目的に制作されたドラマです。	20	—	人権教育室	DVD	337	
障害のある人	みんなで跳んだ(アニメーション)	軽い障がいのある矢部君とともにクラス対抗大縄飛びにどう臨むか。クラスのみんなは悩み、苦しむ葛藤する。みんなは何かを飛び越えた。	28	2003	人権啓発センター	VHS	140
	盲導犬クイールの一生(字幕入り)(アニメーション)	盲導犬クイールの誕生から盲導犬としての訓練や生活。盲導犬は道を教えるだけでなく、人間の心を癒す友にもなる。盲導犬について感動をもって啓発する。	25	2004	人権啓発センター	VHS	149
	仮免許 練習中	交通事故をきっかけに自尊感情を失った親子が、考え、悩み、変容していく姿を通して、人権意識を高め、生き方に活力を呼び起こすドラマ。	30	2004	人権啓発センター	VHS	159
	旅立ちの日に(アニメーション)	「誰もが障がいを感しない社会」ユニバーサル社会を形成するためには、ふれあい、交流を通して多様な価値観や個性の違いを認め合い、理解を深めることが大切。	40	2004	人権啓発センター	VHS	165

☆New

人権啓発VHS・DVDの内容

テーマ	タイトル	内 容	時間 (分)	制作年	所 管	種類	番号
障 が い の あ る 人	壁のない町	障がいのある人の実態に気づき、障がいのあるなしに関わらず、誰もが元気に心豊かに暮らせるユニバーサル社会をどう築くのかを、自分の生き方の中で考える。	35	2004	人権啓発センター	VHS	171
	知的障害者の雇用への道～歩みはじめた医療現場の実践から～	障がい者の自立への大きな道は、自分の意志で働くことである。そのための雇用の確保のために障がい当事者と周囲の者がともに触れ合う中で努力する。差別と偏見、固定観念をとともに働く中で克服していく。	27	2007	人権啓発センター	VHS	194
	コスモス 秋桜の咲く日	「目に見えにくい違い」の一つとしての発達障害をとりあげる。発達障害のある人の生きづらさや痛みを伝えるとともに「違い」が生み出すプラスのエネルギーをコスモスの花々と重ね、「ともに生きることの喜び」を伝える。	34	2014	人権教育室	DVD	251
	風の匂い	健常者と障がい者という壁。その壁を考えるとともに、職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある「合理的配慮」について考えさせられる内容。	34	2016	人権教育室	DVD	272
	桃色のクレヨン	知的障害のいとこ。とまどいながらも接していく中で、いとこの姿を通して大切なことに気づきます。	28	2006	人権啓発センター	DVD	285
	逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者	障がいがあるということは、災害時には普段以上のハンディとなる。マスメディアでは断片的にしか取り上げられない、被災地の障がい者のさまざまな現実に向き合う。	74	2012	人権啓発センター	DVD	286
	できることから始めよう みんなの声かけ運動	兵庫県では、だれもが街中で困っている時に、みんなが声をかけて助け合うという「みんなの声かけ運動」を展開しています。このDVDは肢体障がい者の内、特に車椅子を利用されている人を支援する啓発用のDVDです。	18	2018	人権教育室	DVD	296
	障害のある人と人権 誰もが住みよい社会をつくるために	障がいのある人もない人も誰もが住みよい社会をつくるためにはどうしたらよいのでしょうか？このDVDでは、障がいのある人が直面する人権問題や心のバリアフリーの実現に向けた取組などを紹介し、考えていきます。	33	2018	人権教育室	DVD	298
共に働くための合理的配慮	あらゆる障がいの特性と合理的配慮の具体例を紹介。当事者自身の言葉を通して、そのあり方を考えていきます。また、障がい者雇用に積極的に取り組んでいる企業の実践例も取り上げ、障がいに関係なく誰もが職業を通じて社会参加できる「共生社会」の実現について学びます。	23		人権啓発センター	DVD	308	
さ ま ざ ま な 人 権	人権のヒント 地域編	日常を生きるために必要不可欠な人権なのに、なかなか意識されにくい現状がある。このビデオでは、身近な日常の家庭、地域の生活から、人権を考えていく。分かりやすく、アサーティブで決め付けのない展開なので、保護者の研修に最適である。	25	2010	人権教育室	DVD	217
	ほんとの空	高齢者や外国人に偏見を持っている弓枝。福島から転居してきた家族を「福島＝放射能＝怖い」という思い込みで傷つける。その誤りに気づかせたのは、「空」の写真撮影が趣味の息子「輝」だった。すべての人権課題を自分のこととして捉え、日常の行動につなげることの大切さを訴える。	36	2012	人権教育室	DVD	229
	桃香の自由帳 (字幕入り)	どの地域でも起こりうる出来事に光をあてた作品。日常の何気ない言動を振り返ることで、現代を生きる私たちが見失いつつある人と人が寄り添い共に生きる温かな世界について語りかける。	36	2011	人権教育室	DVD	225
	心のケアと人権 家庭編	課長昇進をきっかけに「うつ病」を発症した石崎。妻の友里子はその診断が受け入れられずに悩む。「うつ病は適切な処置をすれば治る病気であり、そのためには家族の理解と支えが大切」という医師の言葉に支える決意をする。	18	2011	人権教育室	DVD	230
	あなたの偏見、わたしの差別 ～人権に気づく旅～	人権問題に興味を持つ若者たち4人が、①暴力・デートDV・ジェンダー ②自死 ③ホームレス ④ハンセン病について気づき体験し感じたことを議論。深まっていく議論と意見は人権問題を考える手がかりとなる。	30	2012	人権教育室	DVD	232
	ヒーロー	「無縁社会と家族」がテーマ。家族や地域で起こる人権問題に対して、お互いの関係が希薄であるがゆえに傍観するのではなく、主体的に行動することが大切であることを考える作品。	34	2013	人権教育室	DVD	238
	家庭の中の人権 生まれ来る子へ	イクメン、親の介護、DVなどの「家庭の中の人権」に目を向け、私たちの身の回りにおける人権問題について考える。それは、すべての「いのち」を大切にすることにつながる。	25	2013	人権教育室	DVD	241

人権啓発VHS・DVDの内容

テーマ	タイトル	内 容	時間 (分)	制作年	所 管	種類	番号	
さまざま な人権	いのちのまつり 地球が教室	いまこそ子どもたちに伝えたいいのちの大切さ。大人自身がその責任で、いのちの重さを自覚し伝えるために制作したドキュメンタリー。子どもたちに未来を返してあげたい、希望を返してあげたい。そんな思いがこもっている。	60	2013	人権啓発センター	DVD	247	
	カラフル	「“人権”の問題は“人間”の問題」。私たち一人ひとりが生きていく日々の中に存在する。両親と人生の巣立ちのときを迎えた子どもたちとの会話を通じて、フリーター、性同一性障害などの人権問題をとりあげる。	31	2014	人権教育室	DVD	256	
	imagination 想う つながる 一歩ふみだす	舞台は小さなラジオ局。様々な人が番組を聞きながら、心を通わせる一歩を見つけていく。いじめ問題、同和問題、障がい者の人権をテーマに互いが人権を尊重し合って生きていくことを考えるDVD。	34	2014	人権啓発センター	DVD	257	
	マザーズ ハンド ～お母さんの仕事～	家族とは何か？人権とは何か？差別とは何か？親娘愛・姉妹愛・友人の思いやり、そして母の後ろ姿が私を変えた。	19	2012	人権啓発センター	DVD	271	
	わたしたちが伝えたい、大切なこと	日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気付きのプロセスを描いた内容を通して、「人権ってなんだろう」と、自分自身の問題として考えてもらうことを目的とした3つのアニメーション。	31	2017	人権教育室	DVD	278	
	すべての人々の幸せを願って	国連の人権への取り組み、女性の人権、子どもの人権、障害のある人の人権、外国人の人権。すべての人々の幸せを国際的視点から考える作品。	35	2016	人権教育室	DVD	279	
	光射す空へ	大学生たちの悩みと学びを通して、「正しい知識と理解」「多様性の受容と尊重」の大切さを描いた作品。	46	2015	人権啓発センター	DVD	282	
	わっかカフェへようこそ	町の路地にたたずむこの小さなカフェにはいろんな出会いがあり、出会った人と人が言葉を交わし、心を通わせ、互いに認め合い、高めあうことができる。そんなココロまじわるヨリドコロ。	35	2016	人権啓発センター	DVD	283	
	マタニティハラスメント	マタニティハラスメントの言動、対応、さらには具体的な防止対策についてイラストやデータを用いてわかりやすく解説	20	2015	人権啓発センター	DVD	293	
	君が、いるから	母親からの心理的虐待に悩む主人公。「ほんの小さな冒険」をきっかけに、出会う人々とのふれあいを通して、新たな価値観に気づき、ともに心を通わせ、信頼することの先に「希望」と「幸せ」があることを主人公の成長を通して描いた作品。	33	2018	人権教育室	DVD	294	
	あなたの近くにもある人権問題	現代日本での深刻な人権問題であり、子どもたち自身の権利について関わるテーマです。「人権」は遠い誰かの問題ではなく、自分の問題、友達や兄弟の問題として捉えるきっかけを作ります。収録内容は、ブラック部活、ブラックバイト、ブラック企業などについて。	30		人権啓発センター	DVD	302	
	カンパニユラの夢	近年、主に「80代」の高齢の親が「50代」のひきこもりが長期化した子を支えている家庭が増加しています(8050問題)。急速に高齢化が進む今、8050問題は誰にでも起こりうることで認識し、地域の人々がひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくすとともに、お互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。	36	2020	人権教育室	DVD	305	
	言葉があるから…	無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション(小さな攻撃性)」。その背景には国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの軽視や偏見が隠れていることがある。自覚なく加害者にならないために人と向き合う大切さを描いた作品。	31	2023	人権啓発センター	DVD	325	
	見上げれば	ひきこもりは長期化すると社会や人に対する恐怖感が強まり、本人や家族に深刻な影響を与えます。就職・再就職の難しさに心身が疲弊するなど、その苦悩は計り知れず、地域社会との関わりが乏しくなり、家族だけで悩みを抱え込みがちです。適切な支援、信頼できる他者とのつながり、寄り添ってくれる人のいる「居場所」など、誰もが支え合える社会の実現を目指したドラマです。	34	2025	人権教育室	DVD	333	☆New
君の景色を知ったとき	私たちが日々身近に使っているものやサービスが、人によっては簡単には利用できないことがあります。例えば財布の中のクレジットカードやICカード。目が見えない人にとっては、どれがどのカードなのか見分けることは簡単ではありません。障害のある人や外国人、子どもやお年寄りなど、多くの人にとっての「当たり前」に不便を感じる人がいると気付くこと、そしてそれを人の力で支え合うことの大切さを描いたドラマです。	30	2025	人権啓発センター	DVD	335	☆New	
窓の向こうへ わたしも あなたも大切なんだ	主人公がはじめたインターネットのライブ配信で、リスナーたちとのやり取りの中から浮かび上がった様々な問題。「犯罪被害者やその家族の人権」、「ヤングケアラー」、「インターネットによる人権」の3つのテーマを元に、対応や寄り添い方などを考えましょう。	36	2023	人権教育室	DVD	336	☆New	

人権啓発VHS・DVDの内容

テーマ	タイトル	内 容	時間(分)	制作年	所 管	種類	番号
性的マイノリティ	あなたがあなたらしく生きるために 性的マイノリティと人権	多くの性的マイノリティが生きづらさを感じている。誰もがありのまま受け入れられ自分らしく生きたいと望んでいる。性的マイノリティについて人権の視点で理解を深める、性的マイノリティの入門編。	30	2015	人権教育室	DVD	259
	セクシュアル・マイノリティ理解のために～子どもたちの学校生活とところを守る～	クラスにひとりはいる「セクシュアル・マイノリティ」。「どう向き合えばいい?」「どんな言葉がかけられる?」子どもたちが向き合う状況を理解し、適切なケアをするために教育や支援にたずさわる人、必見。	56	2010	人権教育室	DVD	261
	見過ごしていませんか 性的少数者(LGBT)へのセクシュアルハラスメント	見過ごされがちな性的少数者(LGBT)へのセクシュアルハラスメントに気づかせる作品。	29		人権教育室	DVD	276
	LGBTを知ろう	LGBTの人たちを取り巻く現状を理解し、職場や教育現場でどのように具体的に取り組んでいけばよいかを、イラストやデータ、事例などを豊富に盛り込んでわかりやすく解説。	20	2016	人権啓発センター	DVD	284
	これが私の生きる道 ～仲間しゅん～	多様性を大切にしたい。弁護士になった理由は法律という戦うための武器を手に入れて周りのマイノリティ当事者の力になりたいと思ったから。LGBTの当事者である弁護士「仲間しゅん」の生き方。	30	2019	人権啓発センター	DVD	304
	LGBTsの子どもの命を守る学校の取組 ①危機管理としての授業の必要性	本巻では、LGBTsに関する授業の実現を目指し、学校としてできることを模索していく一人の教師の姿を描きます。実際の学校現場で起こりうる様々な困難も描き、その解決策を考え、問題が起こりつつも一歩前に進めるための多くのヒントを得ることが出来ます。	38		人権教育室	DVD	306
	LGBTsの子どもの命を守る学校の取組 ②当事者に寄り添うために ～教育現場での落とし穴～	LGBTsの児童生徒のみならず彼らを取り巻く非当事者の児童生徒の存在やその関わりにあたって、教員が留意するべき心得や、学校での取組や授業展開の注意点などを物語仕立てで紹介。深刻な事態をもたらす可能性があるか具体的に描く一方、目指すべき理想的な対応の一例も示します。	38		人権教育室	DVD	310
	レインボーストーリーズ① 職場～声に出せないハラスメント～	トランスジェンダーが直面する就職活動の困難・アウトティング・制服規程など職場での事例を紹介し、課題解消のためのヒントを示します。	25	2022	人権啓発センター	DVD	315
	パースデー	テーマは「性の多様性を認め合う～誰もが自分らしく生きられる社会を目指して～」です。性的少数者について理解するきっかけとし、その多様性を認め、互いの人権を尊重することは、すべての人が自分らしく生きていける社会につながっていきます。そのような社会の現実を目指すことを目的としたドラマです。	37	2022	人権教育室	DVD	319
	レインボーストーリーズ ③公共機関～誰もが安心して相談できる窓口へ～	LGBTsの人たちが直面する窓口でのトラブル具体例を挙げながら、公共施設・企業での適切な対応について考えます。	20	2021	人権啓発センター	DVD	322
“いいふうふ”になりたい	大阪で初めてパートナーシップ宣言制度を受けたレズビアンカップルが、赤裸々に語ることで同じ苦しみを背負う人たちに寄り添いエールを送り続ける。日常生活や制度、法律などリアルな問題にも鋭く踏み込み、性的マイノリティの問題を人間の問題として語る。	27	2024	人権啓発センター	DVD	332	
セクハラ	セクハラ対策の新常識 ①セクハラになる時、ならない時	どのような時にセクハラになり、どのような時にはならないのか。カラオケのデュエットなどを例に考える。また、同じ言動が、相手によってセクハラになったりならなかったりする理屈を解説。	24	2010	人権教育室	DVD	220
	セクハラ対策の新常識 ②あなたならどうする?	「上司から個人的な好意を寄せられた部下」、「部長によるセクハラ行為を部下から相談された課長」の事例ドラマとそれを考える設問・解説によって構成。微妙なセクハラ当事者となったとき、どのような対応をすればよいか。	25	2010	人権教育室	DVD	221
多文化共生	わいわいごちゃごちゃ	在日韓国・朝鮮人をはじめ、アジア系の人たちが多く暮らす神戸市長田区。阪神淡路大震災をきっかけに「多文化・他民族共生のまちづくり」を合言葉に「FMわいわい」が誕生した。	34	2000	人権啓発センター	VHS	10
	いっしょに歩こう	80年代後半からたくさんの外国人労働者が日本に来るようになった。低賃金、不安定な労働条件、根深い偏見や差別に対して自ら声を上げ、手を結び生きていく外国人をサポートする日本人が描かれている。	45	2001	人権啓発センター	VHS	13
	愛は海よりも深く	皮膚の色の違い、貧しさから差別と闘いながら生きてきた父、その姿を聞いて、差別意識に気づく。それぞれの姿を通して国際理解や同和問題に迫る。	55	1993	人権啓発センター	VHS	143
	外国人と人権	外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切に人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるかを考える。	33	2016	人権啓発センター	DVD	280

人権啓発VHS・DVDの内容

テーマ	タイトル	内 容	時間 (分)	制作年	所 管	種類	番号
多文化共生	ウェルカム！ -外国人の人権-	日本で暮らし働く外国人が増えています。外国人と働くには、多様性を尊重し、その文化を受け入れると同時に、私たち日本の文化や習慣も尊重してもらうことが必要です。この作品は異文化の壁をむしろ扉ととらえ、開いていくことを描いた教材です。	16	2016	人権啓発センター	DVD	295
	サラマット ～あなたの言葉で～	新しく職場に来た外国人に対し、様々な「違い」を「壁」だと捉えてしまう主人公。けれど、「違い」は「壁」ではなく、自身を成長させ、地域を豊かにする源です。異文化の人たちを、共に未来をつくる新しい存在として尊重し高め合っていく。SNS時代における外国人の人権や多文化共生社会の実現を考えていくドラマです。	36	2019	人権教育室	DVD	300
男女共生	根絶！夫からの暴力	あなたは一人で悩んでいませんか？夫からの暴力に対して、どのように対処すべきかを、具体的に、優しく説明する。悩むあなたの周りには、いつでも、どこでも、誰でもあなたをサポートする人がいる。	27	2001	人権教育室	VHS	24
	元気に再チャレンジ！	専業主婦であった山田さんが働くことへのチャレンジの経過を追う。社会への再チャレンジを目指す多くの仲間がいることを知り勇気付けられる。再チャレンジを果たした女性たちの実体験を語りながら、力強いエールを送る。	25	2006	人権教育室	VHS	26
	発信！体験！チャレンジ・ストーリー	積極的に街づくり、コミュニティ作りに夢を持ってチャレンジする女性、歴史ある街の再生、町のネットワーク作りに活躍する、それらの生き生きとした女性の活動を紹介します。	39	2006	人権教育室	VHS	27
	ワーク・ライフ・バランス	「ワーク・ライフ・バランス」それは多様化する生活スタイルや働き方に対する新たな取り組みである。「充実した暮らしとは何か」・「働くことへのモチベーションを高めるには」。ワーク・ライフ・バランスを推進する組織や個人の取り組みを紹介。	27	2007	人権教育室	VHS	28
	ワーク・ライフ・バランスを知っていますか？	ワーク・ライフ・バランスを目指す企業や、仕事と家庭の理想的なバランスを実践する人々の姿をドキュメンタリータッチで紹介する。		2008	人権教育室	DVD	29
	21世紀はみんなが主役	男女共同参画基本法を分かりやすく解説する。男女共同参画社会実現のための入門書的ビデオ。	23		人権教育室	VHS	30
	配偶者からの暴力の根絶をめざして	配偶者からの暴力は、犯罪となる行為を含む重大な人権侵害である。配偶者暴力防止法は、改正され平成20年1月に施行された。このDVDは、配偶者からの暴力の根絶を目指して防止法の仕組みを分かりやすく紹介する。	35	2008	人権教育室	DVD	31
	ロボットハートのぎもん	「性的役割分担」をテーマに、ロボット「ハートン」が「男の子、女の子って何？」という疑問を投げかけます（小学生向き）。	17	2004	人権教育室	VHS	32
	人と人とのよりよい関係をつくるために	若年層が他者との寄りよい人間関係の築き方を学ぶ。交際相手からの暴力（デートDV）の問題について考える。それらを予防、啓発するための指導者用DVD。		2010	人権教育室	DVD	33
	人権の扉をひらく 気づいていますか？身近な人権	共稼ぎ夫婦に起こる様々な事例を通して人権を考える。各テーマ毎に討議する参加型学習に適している。企業、家庭の研修に適している。	25	2004	人権啓発センター	VHS	168
	パパ、ママをぶたないで	2010年広島アニメーションフィルムフェスティバル・グランプリ受賞。父親から母親への暴力を見かねた子どもの実話に基づきアニメーションの技術を駆使して完成。社会への大切なメッセージが込められ語り口も魅力的と高い評価を得た。	20	2010	人権教育室	DVD	244
	あした咲く	独身会社員の妹と専業主婦の姉。それぞれの立場ゆえの悩みや葛藤、姉妹での対立や父との対話、地域の人々とのふれあいを通して、別の視点や価値観に気がきます。多様性社会の実現をめざすきっかけとなるドラマです。	36	2017	人権教育室	DVD	287
	自分らしいファッションってなんだろう	グローバル化の現代社会では、私達の身近にあるモノたちは、途上国の搾取労働によって生産されています。私たちが「安いから」買いたいのものが、途上国の人々を苦しめている。そのためにどうしていけばいいのかを考えるための教材です。	23		人権啓発センター	DVD	303
あなたは大丈夫？ 考えよう！デートDV	パートナーに「身体的な暴力」「精神的な暴力」「経済的な暴力」「性的な暴力」をされた・してしまったことはありませんか？それ、「デートDV」かもしれません。デートDVを防ぐにはどうしたらいい？一緒に、考えてみましょう。	30	2023	人権啓発センター 人権教育室	DVD	329	

人権啓発VHS・DVDの内容

テーマ	タイトル	内 容	時間 (分)	制作年	所 管	種類	番号
同 和 問 題	私の好きなまち	違いを認め、共に生きる大切さを訴えかけます。そして、同和問題を含めて、一人ひとりが「人権文化に満ちた差別のない共生社会づくり」の主役であることに気づくための教材。	35	2005	人権啓発センター	VHS	172
	公正な採用選考をめざして	採用にあたっては、基本的人権を尊重し、適性と能力を基準として選考。採用選考の基本に立ち返り、よりよい選考を目指す研修ビデオ。	28	2005	人権啓発センター	VHS	174
	紡ぎだす未来 ～共に生きる～	被差別部落出身者、在日コリアン、日本に住む外国人、同性愛者。あなたの身近にいるかもしれない被差別当事者の日々の想いをドラマ化した。観て、感じて、考え方のヒントを示した人権啓発ビデオ。	30	2007	人権啓発センター	VHS	188
	白紙のページ ～食肉と私たちの矛盾～	私たちは、牛や豚などの肉を多く食べている。しかし、食肉にする過程に従事する人のことを正しく知らず、偏見で差別する場合が少なくない。食肉を作る人たちの想いを知り、差別解消を図る。	29	2007	人権啓発センター	VHS	198
	若い力は今 吉岡綾 (字幕入り)	自らの差別体験を通して「差別をなくす人生」を生きる吉岡綾さん。若さあふれる熱く力強い語りは行政、企業、学校で大きな反響を呼んでいる。	30	2009	人権啓発センター	DVD	205
	部落の心を伝えたい 第15巻(字幕入り)	結婚してから3年、部落出身の妻と部落外の夫。立場の違う二人が部落差別の実態に迫る。	30	2010	人権啓発センター	DVD	219
	私の中の差別意識 部落差別問題から考える (字幕入り)	あからさまな部落差別は影を潜めたが、まだまだ結婚差別や就職差別は残っている。ドキュメンタリーを通じ、差別された人々の心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別がなくなるか考えるきっかけを提供。	24	2011	人権教育室	DVD	223
	部落の心を伝えたい 無知を許さずー連続大量差別はがき事件・浦本誉至史ー	差別はがきを連続して大量に送られた浦本誉至史さんが、味わった苦しみとつかんだ真実。また、研究者として、江戸の被差別民から学んだこと。それらに「無知」をキーワードにして迫る。	30	2012	人権啓発センター 人権教育室	DVD	234
	部落の心を伝えたい 52歳の立場宣言～なかまがいれば人は変わる～	熊本で部落解放運動のリーダーを務める岡潤爾さん。本気でなければ人は変わらない。語り合い、共感・共鳴し・・・人は動く。50歳にしてつかんだ岡さんの信念だ。	26	2012	人権啓発センター	DVD	236
	部落の心を伝えたい 結婚差別400事例ー弘瀬喜代ー	高知の被差別部落に生まれ現在は徳島に住む弘瀬さん。30年に亘り夫と共に解放運動に取り組み、結婚差別相談に奔走する中でつかんだ人間の真実とは・・・。若い世代へ自分のこととして考えてほしいと講演等で熱く語りかける。	28	2013	人権教育室	DVD	242
	歩の歩み80年 ～山本栄子～	60歳を過ぎてから夜間中学校に入学、夜間高校を経て大学に進学した山本栄子さん。識字を求め、部落差別と闘い続けてきた情熱あふれる人生から掴んだ将来展望をエネルギーに全国で語り続ける。	30	2013	人権啓発センター	DVD	246
	同和問題～過去からの証言、未来への提言～ 同和問題 未来に向けて	我が国固有の人権問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等の様々な団体における人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべき同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について分かり易く簡潔にまとめている。	61	2014	人権教育室	DVD	249
	あなたに伝えたいこと	「インターネット時代における同和問題」がテーマ。主人公の結婚話を中心に展開。ネット上の情報だけではなく実際にふれあう中でお互いを正しく知り合うことが同和問題やすべての差別をなくしていくために重要であることを明るい希望とともに伝える。	36	2014	人権教育室	DVD	250
	映像で見る人権の歴史 第2巻 江戸時代の身分制度と差別された人々	新しい研究の成果と教科書記述の変化をふまえ、発見された最新の史料を活用して映像化。教科書で授業を進めるときの補助教材あるいは社会啓発を行う場合の学習教材として活用できる。小学生版、中学生以上版の2タイトルで編集。	15	2013	人権教育室	DVD	252
	映像で見る人権の歴史 第4巻 明治維新と賤民廃止令	明治政府が差別をなくすためだけでなく地租改正により税を取る目的で「賤民廃止令」をだしたこと、したがって壬申戸籍に差別的なことも政府自身が許可したことなどを描き、近代社会においても「部落差別」が存続した構造を浮かび上がらせる。解説指導の手引付き。	18	2015	人権教育室	DVD	265
部落の心を伝えたい 夢のために～闘い続ける家族・中山末男～	父は解放運動の先駆者として活躍、母は廃品回収、兄は狭山事件の主任弁護士。少年時の差別体験、結婚差別、そして、長男にふりかかった差別事件。その闘いの日々を熱く語る。	28	2015	人権教育室	DVD	267	

人権啓発VHS・DVDの内容

テーマ	タイトル	内 容	時間 (分)	制作年	所 管	種類	番号
同和問題	映像で見る人権の歴史 第3巻 近代医学の基礎を築いた人々	「解体新書」の翻訳などで取り上げられている解剖にあたった「百姓町人とは別に厳しく差別されてきた人々」がなぜ人体の内部に詳しくったのかを解き明かす内容。	17	2015	人権教育室	DVD	277
	差別を問うた20年/ 29の証言	部落問題について29人の証言	30	2016	人権啓発センター	DVD	291
	ともに生きる 私たちの未来 「部落差別解消推進法」がめざすもの	2016年12月、部落差別の解消を目的とした「部落差別解消推進法」が施行されました。この作品では、ネット社会の中で新たな局面を迎えている「部落問題」について考え、「ともに生きる社会」をどう実現していくのか、私たち一人ひとりに問いかけていきます。	38	2017	人権教育室	DVD	299
	今そこにいる人と、しっかり 出会う -同和問題-	同和問題について理解を深めると同時に、同和問題をモチーフに、人と人がしっかり出会い、差別とどう向き合っていくかについてのヒントになる作品。	24	2020	人権教育室	DVD	312
	大切なひと	インターネット上の一部の情報が、誤った認識や差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると気づく大切さ、差別されている当事者が訴え続けるという負担を強いる社会構造の実態について理解するとともに、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現を目指すことを目的に制作。	34	2023	人権教育室	DVD	324
	私と部落とハンセン病 ～林 力 99歳の遺言～	父がハンセン病により隔離され、差別の厳しさから「隠して生きる！」という父の言葉に忠実に生きてきましたが、教員となり被差別部落の子どもたちと接する中で「水平社宣言」に出会い、反差別を貫き、今も精力的に講演活動を行っています。『砂の器』を生きた林さん父子の物語（ドキュメント）です。	26	2023	人権啓発センター	DVD	326
	寝た子を起こす	部落差別をなくすために小学校教員になった古田圭策さん。人権啓発研修講師として今、エネルギーな講演を各地で続けている。「教えなければ部落差別は自然となくなるはず」…そんな根強く残る「寝た子を起こすな論」を自らのリアルな体験をもとに徹底的に反証する。	28	2025	人権啓発センター	DVD	334
インターネットによる人権侵害	あの空の向こうに	私たちが普段使っているケータイやインターネットがある日突然「凶器」に変わり、人権を侵害する。誰もが加害者に、被害者になっても不思議でない。このドラマは、文明の利器を正しく使用し、語り合いの大切さを訴えている。	38	2009	人権啓発センター	DVD	204
	インターネットと人権	今、私たちの生活で「インターネット」は必需品である。情報を瞬時に入手でき、コミュニケーションの手段としても重要な役割を果たしている。しかしその反面、活用方法を誤ると「ネットいじめ」「ネット犯罪」等の人権侵害につながる可能性がある。正しい知識と人権を基礎にしたネット活用について学ぶ。	22	2010	人権教育室	DVD	214
	インターネットと人権 加害者にも 被害者にもならないために	主に中高生やその保護者、教職員を対象に、インターネットを利用する上での危険性や、安全な利用法・対策について、わかりやすくまとめたもの。	30	2016	人権啓発センター	DVD	281
	いわれなき 誹謗中傷との闘い～スマイリーキクチと考える インターネットにおける人権～	お笑い芸人・スマイリーキクチさんがネット上で誹謗中傷され、刑事告発し闘う経緯を解説。ネット差別にどう立ち向かうべきかを考えます。	20	2021	人権啓発センター	DVD	321
	いつの間にか拡散 ネットに潜む部落差別	近年、部落差別（同和問題）に関しては、SNSで「〇〇地区は被差別部落である」と書き込んだり、動画サイトで公開する行為が増えて大きな社会問題になっている。インターネットに潜む差別意識を解消するにはどのような対策を講じるべきかを示し、部落差別に負けない力をつける必要性を訴える作品。	21	2024	人権啓発センター	DVD	331
生活者 野宿	温もりのある社会を野宿生活者とともに	全国の野宿生活者は、不景気による企業の倒産、レストラン、雇用構造の変化によって年々増加し、新たな人権問題になっている。ビデオは、現状と、それを支える市民の活動、行政の取り組みを紹介する。	40	2004	人権啓発センター	VHS	19
被害者 犯罪	ある日突然最愛の娘を奪われて～犯罪がその後もたらすもの～	事件というのは何の前触れもなく突然やってきて、平和で幸せな家庭を壊してしまう。また、回復できない傷を負わせる。さらに傷つけられたのは周囲の態度や反応であった。あなたも気付かないうちに誰かを傷つけていませんか？	41	2000	人権啓発センター	DVD	202
部落史	部落史学習ビデオⅦ 皮革と被差別部落	近世から近現代にかけての部落と皮革業のかかわりを豊富な文献で紹介する。また、姫路の高木部落の職人技を紹介する。さらに大阪・西成の手縫い靴の業も紹介する。	40	2003	人権啓発センター	VHS	16

☆New

人権啓発VHS・DVDの内容

テーマ	タイトル	内 容	時間 (分)	制作年	所 管	種類	番号
部落史	部落史学習ビデオVI 被差別部落の芸能と文化	被差別部落の人々が保存継承した太鼓や人形芝居を現地取材を交えて分かりやすく説明する。内容は、円通寺の人形芝居、渡辺村と太鼓、被差別部落と食肉業を紹介する。	43	2003	人権啓発センター	VHS	17
	部落史学習ビデオ9 職人の技	部落の生活を支えた様々な産業・仕事に長年携わってきた職人が、仕事の中で身につけた技を見ると共に、生活と部落の産業について学ぶ。	100	2004	人権啓発センター	VHS	18
	渋染一揆 (アニメーション) (字幕入り)	渋染一揆は、江戸時代の身分制の中で、服装などにまで加えられようとした差別施策に対して、人々が団結して立ち上がり、犠牲を払いながらも、人間としての誇りをかけた要求を貫いて成功させた取り組み。	15	2001	人権啓発センター	VHS	115
	部落史は変わった 関西大学講師 上杉聡 2005年度伊同教研究大会講演	政治起源ではなく、中世からの経済文化の中で部落への意識が作られた。最下層ではなく、制度の外存在であった。差別意識は人間の不断の努力で無くすることができる。力強い講演。	90	2005	人権啓発センター	VHS	163
	部落の歴史 (中世～江戸) (字幕入り)	現在もなお残る差別意識は一体どこで、どのようにつくられていったのか。新しい研究の成果をもとに、部落の人たちが人々の生活や文化を支えた必要不可欠な存在であったことを理解し、私たちの意識を問い直すビデオ。	27	2006	人権啓発センター	VHS	179
	部落の歴史 (明治～現代) (字幕入り)	「解放令」の後も、差別意識の温存により、被差別部落が近代化から取り残され、不安定な雇用のもと、低賃金・重労働のなかで差別が再生産された。水平社運動から同和対策事業特別法へ、たゆまぬ差別解消の歴史を学ぶ。	26	2006	人権啓発センター	VHS	180
平和	はだしのゲンⅢ	4年生の成長したゲンを中心に原爆孤児たちが廃墟の中で明るく生きる姿とゲンの母親の発病から死までを描く。母とゲンが廃墟のヒロシマで力強く生きる姿を描く中で平和を考える。	128	1980	人権啓発センター	VHS	2
	ヒロシマ・母たちの祈り	原子爆弾の被爆直後のヒロシマの惨状と、戦後45年間の核兵器廃絶運動のあゆみを描いた原爆記録映画。	30	1990	人権啓発センター	VHS	11
	おこりじぞう (人形アニメーション)	日本の国が戦争をしていた昭和20年、広島に原子爆弾が落とされ焼け野原となった。これから数年後の広島に「おこりじぞう」と呼ばれる首と胴が繋がっていないお地藏さんが立っていた。	28	1983	人権啓発センター	VHS	113
民族	アイヌ文化を学ぶ	アイヌという言葉は、アイヌ語で人間という意味。アイヌ民族は独自の言語、文化を有する民族で、アイヌ民族の培ってきた文化は歴史とともにその様相がさまざまに変化してきた。彼らは自らその保存と継承に積極的に取り組んでいる。	30	1994	人権啓発センター	VHS	17
拉致問題	めぐみ (アニメーション)	昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中で北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の模様を描いたドキュメンタリー・アニメ	25	2008	人権啓発センター	DVD	195
	「ただいま」～の声を聞くために～	北朝鮮によって拉致されためぐみさん。大切に育てた娘が突然消えてしまった。それからずっとわが子を愛し続けて「家族のもとに返して」と叫び、父と母の物語。	33	2009	人権教育室	DVD	266

視聴覚教材貸し出し申込書



(確定 ・ 予約)

※ 事前に電話にて貸出状況の確認をお願いします。

人権教育室 TEL : 784-8113 FAX : 780-3519
Eメール : ed-jinken@city.itami.lg.jp
人権啓発センター TEL : 781-6006 FAX : 779-6224

※太枠内についてご記入下さい。

申込日	年	月	日
氏名			
所属団体・ 学校・会社名			
住所			
連絡先	TEL :	内線 ()

貸し出しを希望するVHS・DVD

	番号	テーマ	名 称	種 類
1				(VHS ・ DVD)
2				(VHS ・ DVD)
3				(VHS ・ DVD)
4				(VHS ・ DVD)

<予約>

<確認>

貸出希望日	/	確認者		貸出確認	/	確認者	申込者	受付者
返却予定日	/	確認者		返却確認	/	確認者		

*使用目的

- () 個人での使用
- () 研修・講習等の行事で使用
(行事名：__人権研修__ 参加予定人数__名)
(開催日時・会場等：_____/_____)
- () その他

*事務局記載欄

上記申し込みのとおり貸し出してよろしいか。

受付日 年 月 日

--	--	--	--	--